

先週のマーケット動向(2月17日~2月21日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,441.0	1,445.8	1,431.4	1,434.3	▲9.2
JPY/KRW	9.4813	9.5919	9.4632	9.5302	+0.072
KOSPI	2,595.99	2,680.70	2,592.57	2,654.58	+63.53

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初のドル/ウォンは1,441.0ウォンでオープン。前週末に米金利が低下したことを受けて若干ウォン売りが拡大するも、ウォン買いの実需フローも限定的で1,440ウォン付近でサポートされる展開。その後も週央付近までは、ウクライナを巡る米-露交渉の進展期待と米国の関税を巡る懸念など強弱材料が入り混じる中で方向感に欠く推移が続き1,440ウォン台前半を主なレンジとして推移した。一方、週末にかけては日本円や人民元が堅調推移を見せる中でウォンも連れ高となり上昇。ドル/ウォンは一時1,431.4ウォンの安値をつけた後、前週末比▲9.2ウォンの1,434.3ウォンでクローズした。

(韓国時間15:30)

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今週の見通し

先週末の軟調な米経済指標を背景に株式は下落し、米金利は低下。一時は楽観視された米国の関税政策やウクライナ情勢を巡っても不透明感は増しており、リスクセンチメントは悪化傾向か。今週25日にはBOK会合を控えるが、戒厳令発動後の経済悪化を受けて利下げ予想が優勢な状況。上記より今週はウォン売り材料が多く、ドル/ウォンは緩やかに上昇推移する展開を予想する。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1425 ~ 1450	9.50 ~ 9.80	147.5 ~ 150.5

今後の予定

- 24日(月) 欧 1月 CPI 確報値
- 25日(火) 米 2月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
韓 BOK 政策金利発表
- 26日(水) 米 1月 新築住宅販売件数
- 27日(木) 米 2月 失業保険新規申請者数
欧 2月 消費者信頼感指数 確報値
米 1月 耐久財受注 速報値
米 4Q GDP 二次速報
- 28日(金) 日 1月 鉱工業指数 速報値
日 2月 東京都区内CPI
米 1月 個人所得
米 1月 個人消費

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。